

◎ふみの日について

日本郵政公社では「手紙の良さ、楽しさ」を多くのみなさまに知っていただくことを目的として、毎月23日を「ふみの日」としています。

昭和54(1979)年から全国的に展開されており、その一環として、毎年、文月(ふみづき)である7月に「ふみの日」にちなむ郵便切手を発行しています。

◎デザイン

我が国の代表的な古典歌集である百人一首を題材とし、江戸時代の歌がるた「光琳かるた(通称)」の絵柄を基にデザインしています。春(紀貫之)、夏(持統天皇)、秋(猿丸大夫)、冬(源兼昌)、恋(二条院讃岐)の歌5つを取り上げ、それぞれ読み札と取り札に分けています。読み札には歌人が、取り札には歌に合った風物等が描かれ、歌の文字は、現代の著名書家5名が新しく書いたものです。また、わかりやすいように、シート部分には現代仮名づかいで歌を、余白部分には歌人の名前を記しています。

【紀貫之(梅)】

人はいさ 心も知らず 故郷は
花ぞ昔の 香ににおける

【持統天皇(天の香具山)】

春過ぎて 夏来にけらし 白妙の
衣ほすちょう(てふ) 天の香具山

【猿丸大夫(鳴く鹿)】

奥山に 紅葉踏み分け 鳴く鹿の
声聞く時ぞ 秋は悲しき

【源兼昌(千鳥)】

淡路島 通う千鳥の 鳴く声に
幾夜寝覚めぬ 須磨の関守

【二条院讃岐(沖の石)】

わが袖は 潮干に見えぬ 沖の石の
人こそ知らね 乾く間もなし

◎ふみの日にちなむ郵便切手 特殊通信日付印

使用局:

- (A) 定例局
- (B) 札幌、仙台、横浜、東京、長野、名古屋、大阪、岡山、福岡の各中央郵便局

使用日:

- (A) 平成19年7月23日(月)~7月29日(日)
- (B) 平成19年7月23日(月)のみ



(A) 手押し用



(B) 記念押印機用

ふみの日にちなむ郵便切手

80円切手(10枚/シート)

Letter-Writing Day



発行日:平成19(2007)年7月23日(月) <http://www.kitte-design.net/>



[2]

[1]

ふみの日にちなむ郵便切手

80円郵便切手(10枚/シート)

Letter-Writing Day



[6]

[5]



[8]

[7]



[4]

[3]



[10]

[9]

種類:

80円郵便切手 ※1シート10枚/1枚から販売します。

意匠(書家):

- [1]紀貫之 [2]梅/(小山 やす子)、[3]持統天皇 [4]天の香具山/(内山 玲子)、
- [5]猿丸大夫 [6]鳴く鹿/(山崎 暁子)、[7]源兼昌 [8]千鳥/(米本 一幸)、
- [9]二条院讃岐 [10]沖の石/(三宅 相舟)

発行日:

平成19(2007)年7月23日(月)

版式刷色: グラビア6色

小切れ・印面寸法:

縦38.5mm×横28.05mm

シート寸法:

縦222.5mm×横140.25mm

助言・監修等:

【歌の選定】浅田 徹氏
(お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科 准教授)

【かな文字監修】三宅 相舟氏
(書家、東洋大学文学部教授、大東文化大学書道研究所 兼任研究員)

デザイン:

貝淵 純子(切手デザイナー)